

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		害虫等駆除事業費 [アライグマ・ハクビシン防除等事業]										
予算科目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	6	環境衛生費	事業番号	1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	環境			課			環境公害		係	課長名	下村 和郎	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	4 - 8		
【施策名】 環境の保全									総合計画書 (ページ)	99		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民。					→						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	アライグマ・ハクビシン等の個体数を減少させ、食害・糞害等の被害を減らしたい。					→ アライグマ・ハクビシン等に関する相談件数：74件（令和2年3月31日時点）						
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	捕獲器の貸出し(委託業者による設置)を行った。東京都の主催する技術講習会、自治体意見交換会に参加し、アライグマ・ハクビシンの効果的な捕獲方法を研究した。					→ 捕獲器の貸出し件数：41件（令和2年3月31日時点）						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337						
	成果指標	②の数値	件	51.0	70.0	74.0						
	目 標	②の目標値	件									
		目標値設定の考え方										
3 経費	事業費(実績)		円	239,090	643,680	536,920		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	120,090	322,680	268,920						
		特定財源	円	119,000	321,000	268,000						
			(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.4	0.4	0.4					
		所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0					
			職員人件費(再任用以外)	円	3,301,200	3,297,600	3,324,000					
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0						
		事業費+人件費	円	3,540,290	3,941,280	3,860,920						
4 環境変化等	(1) 開始年度		29 年度									
	(2) 環境の変化		市内でアライグマ・ハクビシン等の痕跡、目撃情報、住宅等への侵入に関する相談が増加したため、これらの生活・農業被害対策として平成29年度より開始した。平成30年度以降は食害(農作物や庭の金魚が食べられる)・糞害等に関する相談・実害が増加した。市民のアライグマ・ハクビシン等に対する認識が高まっていると感じる。									

事業名称	害虫等駆除事業費 [アライグマ・ハクビシン防除等事業]			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 下村 和郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人で業者に依頼すると高額な費用がかかるため、経済的に助かるという意見が市民より寄せられた。</li> <li>捕獲器については、原則として1ヶ月の貸出しであるが、貸出し期間の延長希望がある。</li> </ul>			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ  <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：⑦、⑧（設置場所が依頼者の敷地内で、依頼者による毎日の見回り、エサの補充を必要とするため、市民協働が不可欠） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 捕獲件数の高い地域の自治会等に啓発チラシを配布し、アライグマ・ハクビシン防除等事業に対する意識を高めてもらう。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	初年度に購入した捕獲わなの強度に問題があったため、より頑丈なわなを購入した。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	捕獲器を追加で3台購入し、同時に複数の貸出し相談に対応できる体制を整えた。現在計12台の捕獲器を保有。			
8 施策貢献状況	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	12台の捕獲器を遊ばせずに、いかに効率的に稼働させるかが課題。			
9 今後の方向性	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 環境の保全 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 捕獲率を高めることを目的に、民家以外への設置を検討する。例えば、緑地など管理の目が行き届き、かつ子供達に悪戯されない場所など。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 毎日の見回りやエサ換えが必要。また、アライグマ・ハクビシン等が捕獲された場合、速やかな回収が必要（それ以外の動物は速やかな放獣）。			